

製品安全データシート

会社情報

会 社 積水テクノ商事西日本株式会社
住 所 大阪市北区西天満2-4-4
担当部署 経営企画部商品・品質企画グループ
担 当 者 野田 数己
電話番号 (06)6365-4342
ファックス番号 (06)6365-4238
作成日 2009年 8月24日
改定日 年 月 日
版 数 第 1 版

製品名(化学名、商品名等) : プラベニソフト

1.物質の特定

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名 : エチレン・酢酸ビニル共重合体、添加剤、着色剤

官報公示整理番号(化審法、安衛法): (6)-6(エチレン・酢酸ビニル共重合体)

国連分類及び国連番号: -

化学式又は構造式: 省略

CAS. : 24937-78-8(エチレン・酢酸ビニル共重合体)

2.危険有害性の要約

分類の名称: 分類基準に該当しません。

危険性: 可燃性です。

有害性: 現在のところ知見なし

3.応急処置

目に入った場合: 流水にて十分洗眼し、眼科医の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合: 刺激があれば水と石鹼で洗い流して下さい。

皮膚にかぶれ、痛み等がある場合には医師の手当てを受けて下さい。

吸入した場合: 固形物につき、吸引には該当しません。

飲み込んだ場合: 嘔吐させた後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

4.火災時の処置

消火方法: 下記の消火剤で消火して下さい。尚、不完全燃焼による一酸化炭素が発生する可能性があるため、防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

消火剤: 水、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス等を用いることができます。

5.漏出時の措置 漏出することはありません。

6.取扱い及び保管上の注意

取り扱い：重量物であるため、落下等の乱暴な取扱いは避けて下さい。傷・変形防止のため衝撃は避けて下さい。

保管：常温・常湿・冷暗所にて保管して下さい。（極端な高温・多湿は避けて下さい）
又、直射日光・風雨・結露等は避けて下さい。段積みする場合は荷崩れに注意して下さい

7.暴露防止措置

管理濃度： -

許容濃度：日本産業衛生学会（ 年度版）； - ， A C G I H（ 年度版）； -

設備対策：特に必要なし。

保護具：必要に応じ適宜、安全靴、ヘルメット、手袋、保護めがね等の保護具を着用する。

8.物理的及び化学的性質

外観等：固体シート状、青色。

臭気： - 沸点： - 蒸気圧： - 揮発性： -

融点： - 比重：約 0.94 初留点： -

溶解度：水に不溶 その他： -

9.危険情報（安定性・反応性）

引火点： - 発火点（自然発火性、水との反応性）： -

可燃性：あり 爆発限界： -

酸化性：現在のところ知見無し

自己反応性・爆発性：現在のところ知見無し

粉塵爆発性：現在のところ知見無し

安定性・反応性：現在のところ知見無し

その他： -

10.有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：現在のところ知見無し

刺激性（皮膚・目）：現在のところ知見無し

感作性：現在のところ知見無し

急性毒性（50%致死量等含む）：現在のところ知見無し

亜急性毒性（慢性毒性）：現在のところ知見無し

がん原性：現在のところ知見無し

変異原性（微生物・染色体異常）：現在のところ知見無し

殖毒性：現在のところ知見無し

催奇形性：現在のところ知見無し

その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：特に無し

11.環境影響情報

分解性：現在のところ知見無し
蓄積性：現在のところ知見無し
魚毒性：現在のところ知見無し
その他：特に無し

12.廃棄上の注意

理め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合にはその団体に委託処理する。尚、焼却する時には焼却設備を用い、大気汚染防止条例など諸法令に適合した処理を施して焼却下さい。また、ダイオキシンの前駆体となる物質は製品設計上成分として含んでおりません。しかし、ダイオキシンの発生過程は十分解明されておらず、一般物質を燃焼させた時も発生する場合があります。焼却の際には環境省が定めた基準に合格する焼却炉で800以上の高温条件で焼却することをお薦め致します。

13.輸送上の注意

高温多湿、直射日光を避けて下さい。風雨による水漏れに注意下さい。また、落下、引きずる等の荷扱いは避けて下さい。

14.適用法令

消防法：指定可燃物に該当します。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物、廃プラスチック類

15.その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

特にありません。

注意事項

- 1)本シート記載内容は作成・改定日時点で入手した情報に基づき作成しております。このため新しい知見に基づき改訂される場合があります。
- 2)注意事項につきましては通常の取扱いを対象として記載しております。特殊な取扱いの場合は、それに対応した安全上の対策を実施願います。
- 3)危険性・有害性の評価は必ずしも十分とはいえませんが取扱いには十分ご注意下さい。